

(回覧番号 336) 外務省電信案 (分類)

電信課長

代
植
山

機密表示 (極秘・秘の朱印) 平	符号表示 暗 略 平	※ 総機 824 015-00 / 号
	※ 第 1100 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 秒 48- 8 24 12- 01
	大至急・至急・普通 普通 LTF	※ 発電係

(※印欄内は電信課記入)

大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アジア局長 夏 中江参事官 也 大森参事官 中 北東アジア課長 中 主席事務 山	主管局部課 (室) 名 北東アジア課 起案 昭和 48 年 8 月 18 日 起案者 六条 電話番号 2416
--	---	--

協議先

技術協力一課長 **中** 経済協力一課長 **中**
技術協力二課長 **中** 経済協力二課長 **中**

大使 **大** 臨時代理大使 **佐藤**
在 韓国 後官 総領事 代理 外務 大臣 発

電 報 在 大使 臨時代理大使 総領事 代理 であて

件名 韓国原煤被害者救済所建設計画

貴電第1426号に關し、

核禁會議 および 徳山ニユー・ライオ
ンズ・クラブより事情を聴取した
ところ、次のとおり

1. 核禁會議は 1970年 および 71年

(昭和四二・七一 改正)

医療使節団を韓国に派遣し、原
 爆被害者の実態調査を行ない、72
 年より医療センターの建設（北川）
 計画に着手した。核禁会議は同
 センターの建設費として約1,700万
 円を見積り、且下日本国内におい
 て資金を募金中である。8月20日
 頃核禁会議関係代表者2名は韓国
 に赴き、原爆被害者援護協会
 等関係者と具体的な打合せを行な
 い、センター建設（北川）のための契約を締
 結し（年はまだ整っていない）、契約当事者と
 しては核禁会議、援護協会、建設
 業者等も予定している（保健社会
 部も当事者と存じて）核禁会議は

希望している)。

核燃料会議関係者は工事の^{一時金}~~費用~~として2~3百万円を携行する予定であり、9月に工事に着手し10月末の完成(遅くとも12月中)を考えている。

2. ^{ニエ}徳山ライオンズクラブは70年頃からソウルにおいて10億円程度の建設費を要する原爆被害者のための病院を建設する計画を立て、現在では韓三ライオンズクラブ、馬山ライオンズクラブ等と協議しているが、具体的に資金計画、建設計画等は決まっていない。

(3)